



## 今月新しく入りました。

※7月の新刊は、1日（金）からの貸出となります。

### 一般の本

／秋霜（作＝葉室 麟）／ツバキ文具店（作＝小川 糸）／みつえばあちゃんとぼく（作＝岡野雄一）／一日が幸せになる朝ごはん（大野正人）／食品の保存テク（作＝徳江千代子）

### 子どもの本

／このあとどうしちやおう（作＝ヨシタケシンスケ）／せきとりしりとり（作＝サトシン）／出発進行！里山トロッコ列車（作＝かこさとし）／まのいいりょうし（作＝瀬田貞二）／モリくんのいちごカー（作＝かんべあやこ）

## なきすぎでは いけない 作＝内田麟太郎

**誰** かを待ちわび  
ている様子で  
バス停に座る  
男の子。黄色のレ  
インコートに帽子をか  
ぶって傍らには小さ  
な傘と大きな茶色の  
傘。たくさんの時間  
を一緒に過ごした大  
切な孫への亡くなっ  
たおじちゃんから  
の  
メッセージ。  
淡い緑色を基調と  
した色合いの絵の中  
で、孫を見守るおじ  
さんの気持ちが穏や  
かに優しく語られま  
す。残された大切な存  
在へ、静かに引き継が  
れていく命のバトン  
のお話です。

本は知識を深めるだけでなく、人と人とのつながりを広げてくれます。新たな本との出会いは新たな人との出会いの始まり。広がる本だでは、新たな本との出会いの場として、毎月おすすめの本を2冊紹介します。今月の紹介者は石松一葉さんです。

# 広がる本だ

## 山月記 作＝中島 敦

**唐** の時代、博学  
で才能のあつ  
た李徴は科挙  
に合格し官吏に就く。  
やがて官吏の身分に  
満足できず詩人とし  
て名を残そうとする  
がうまくいかず、再び  
役人として働き始め  
る。しかしその生活に  
も耐えられず、ある  
日地方へ行ったとき  
に発狂し、そのまま  
行方知れずとなつた。  
人食い虎と身を変え  
た李徴は旧友の袁修  
に自分の運命につい  
て話します。「自分の  
心の中には虎があり、  
ついには体も虎にな  
ってしまった。」  
若かったころ読ん  
だことがあるという  
人、そして今のあなた  
にも読んでほしい一  
冊です。

## こどものとしょじつで**お話の会**を行っています。 ※7月は、16日（土）午前11時から。

毎月第2土曜日は、中央公民館内にある「こどものとしょじつ」でお話の会を行っています。  
絵本の読み聞かせや工作など、赤ちゃんから大人まで楽しめる内容になっていますので、ぜひ一度ご参加ください。

### ● 読み聞かせ



### ● 工作



※写真は、5月14日に行ったお話の会の様子です。

